

平成28年度

ちょっといいはなし 春色

3月

AAR Japan 難民を助ける会

加藤 亜季子さん

東日本大震災特別授業：

「3・11を忘れない」

3月10日（金）体育館（公開参観）

13:30～14:30



岩手県大槌町で。理学療法士によるマッサージ

三谷小では、3・11東日本大震災以降、「忘れてはいけない日」として、気仙沼の先生や女川の先生をお呼びして講演会を開きしてきました。子供たちには、話をうかがいながら、「自分たちのいのちを守り、身近な人の助けができて、さらに地域に貢献していく力」を培ってほしいと考えています。

6年目の今年の授業は、大人と子供のための読み聞かせの会の中井貴恵氏（女優さん）の紹介でNPO「難民を助ける会」の加藤氏に依頼しました。

難民を助ける会は、国連に公認・登録された国際NGOです。海外での支援を中心に活動を行っているようですが、今回は、三谷小学校の方向性を理解していただき、災害などで被災した方々のその後について、障害をもった方や高齢者の方々の様子なども話していただき、「思いやり、優しさ、いのちの大切さ」を学べればと考えています。また、「難民を助ける会」での海外での活動についても触れていただけるということです。

3・11へ向けて、メディアでも震災復興が取り上げられています。ご家庭でも、もう一度「自助・共助・公助」について考え、話し合っていける地域となることを願っています。

先進国と呼ばれる日本。地震国日本。海に囲まれ、大陸プレートの動くという現実を踏まえたうえで、地震と共に訪れるであろう、被災後の様子や対策を伺い、学校で、家庭で、「どう『備える』かを学び、考え、実行していくこと」が、必要だと考えます。

①「自助」…大地震発生時！震災による負傷、疾病発生時の対応、救助など、自分の命は自分で守るという意識と知識と能力を身に付ける。②「共助」…ひとたび避難所にはいってからは、身近な人に自分が何ができるかの精神と意識と能力である「守る力」を培う。③さらに「公助」…どのようなことができるのかという知識。

過去を大切にしながらも、自分たちの未来を大切にしていける学校生活を送り、6年生が卒業した後、リーダーとして育つ姿の第一歩としての学びとなるとうれしいです。



東日本大震災直後の物資配付の様子

連絡先： 副校長 若尾 美暢

3390-0164